

第2回「板額杯」争奪 小学生・中学生・高校3年生弓道大会要綱

- 主催 笛吹市地域振興促進事業「弓道普及」委員会
- 後援 笛吹市・笛吹市教育委員会・笛吹市体育協会
- 期日 平成28年 8月 20日(土) 午前8時から受付 9時開会式
表彰式終了は、15時ころ予定
- 会場 笛吹市清流公園内 清流館弓道場 近的場
笛吹市石和町小石和700(石和中学校西側) 駐車場あり
電話 055-262-8686
- 参加資格 小学校・中学校・高校3年生・弓道スポ少などで練習されている弓士
が対象です。
「石和町弓道部」HPなどをご覧になった、山梨県内外からの参加者
も歓迎します。
参加者はできるだけ、安全の面などから、保護者同伴でお願いします。
- 参加費 一人 1,000円(昼食弁当・飲み物付、当日受付でいただきます)
- 競技方法
1. 近的 男女別 個人戦 立射(8射)
 2. 表彰は的中が多かった順で、同中の場合は競射します。
小学生の部 男女あわせて1位~3位(表彰状)
中学生の部 男女とも1位~5位(表彰状)
高校3年生の部 男女あわせて1位~3位(表彰状)
優勝者には、それぞれ賞品贈られ、出場者全員に「参加賞」が贈
られます。
 3. 立順は主催事務局で決めますが、仲間同士の同組希望は申し込み
の時に申し出てください。(一組3人立)
 4. 小学生に限り「矢こぼれ」(1回のみ)、「狙いの指導」を認め
ます。
 5. 服装は「弓道着がのぞましい」のですが、体育着も認めます。
 6. この大会は、申込者のみが出場でき、当日の申し込み受付はあり
せんのでご注意ください。
- 申込期日 平成27年 8月 8日(月) ※期日厳守必着
- 出場申込先・問合せ先 〒406-0043

笛吹市石和町河内1040-13 小田切 勝
電話・FAX 055-262-5300
Eメール furuya1350@yahoo.co.jp

※メール、FAX、郵送での申込みも可能（但し、申し込みをされましたら必ず確認のお電話をして頂きますよう宜しくお願い致します。）

- その他
- ①キャンセルする場合は、早めに問合せ先へ連絡下さい。
 - ②「矢取り」など、進行への協力をお願いします。
 - ③会場の美化にご協力お願い致します。ゴミは持ち帰り願います。
 - ④大会の後片付け等にも、ご協力下さい。
 - ⑤大会当日の靴は、各自袋を持参して保管して下さい。
 - ⑥19日（金）前日からおいでになり、石和町付近のホテルなどへ宿泊する参加者で、希望する方は13時～16時、清流館弓道道場で練習ができます。
宿泊しない方でも練習できますので、申し込んでください。

<板額杯（はんがくはい）について>

板額御前は、中央市豊富村の英雄、浅利与一（あさりよいち）の奥様だった人で、笛吹市境川村に「板額塚」（お墓）があるということです。

今から800年以上前、かの源平合戦で活躍した弓の名手、浅利与一はその後鎌倉幕府に取り立てられ活躍します。

一方、反乱を起こした平氏方の残党、現新潟県胎内市中条町を治めていた城氏の姫であった「板額」は、捕らわれの身となり鎌倉に送られます。

「板額姫」は、女性でありながらも弓の名手であり、勇猛果敢な戦いぶりが評判となっていました。

「吾妻鏡（あづまかがみ）」（鎌倉時代の歴史書）によると、評判に違わず堂々とした振る舞いとその美貌に魅了された浅利与一は、「姫を妻にしたい」と願い出ます。

そして、鎌倉幕府に反乱を起こした敵方の姫を貰い受けるにあたって、自分も弓の名手として有名であった浅利与一は、「板額が男子を産すれば、必ずや幕府や朝廷を守る立派な武将になりましょう」と懇願したのだそうです。

敵同士であった甲斐の国と越後の国にいた人間的魅力あふれる二人の男女が、鎌倉で出会い結ばれるという、この逸話は、板額姫の異彩を放つ魅力と、矢のように真っ直ぐな与一の性格が垣間見え結構ドラマチックな話になっています。

「弓道普及」委員会は、笛吹市内に伝わるこの逸話から、少年少女の健全育成を願い「板額杯」の弓道大会を開催することになりました。